

中期取組目標実現に向けた「三つのプラン」

学校教育目標

「自ら輝く ときわの子」 ～一人ひとりが輝く存在に～
学び合い、自分らしさを発揮する子の育成を目指します
○認め合い、学び合いながら、自ら向上しようとする子を育てます。(知)
○きちんとあいさつができ、感謝の気持ちをもてる子を育てます。(徳)
○自らの健康を考え、積極的に体力づくりに取り組む子を育てます。(体)
○地域・社会の一員として、自信をもって行動できる子を育てます。(公)
○人とのコミュニケーションを大切に、社会にかかわる子どもを育てます。(関)

教育課程全体で
育成を目指す資質・能力

<自己も他者も尊重し、互いにかかわって
いく力>
<自らすすんで挑戦していく態度>

具体化した資質・能力

自己肯定感 主体性・積極性 他者を理解する態度・自己を理解する姿勢
自分らしさを発揮しようとする姿勢

中期取組目標

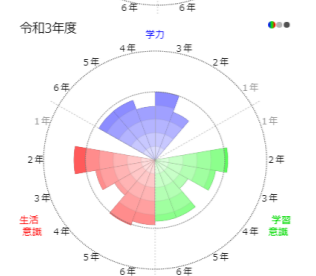
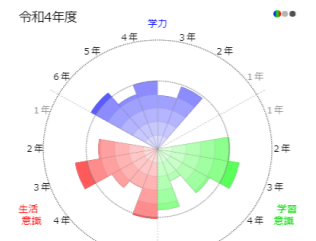
○子ども一人ひとりを大切に教育を進め、「チーム常盤台」として明るく輝きに満ちた学校を創ります。
・学ぶ楽しさが実感できる授業づくりを通して、基礎基本の定着と表現力を高め学力を向上させます。
・あいさつを大切にし、物事の善悪を判断して行動できるようにします。
・子ども一人ひとりの自己肯定感を高め、人とのかわりを豊かにします。
・心身の健康のために、体力の向上とより良い生活習慣を形成します。
・地域と連携しながら、地域の人材、施設等を活用した学習や体験学習を行います。

学力向上アクションプラン

Table with 2 columns: 重点取組分野 (確かな学力), 具体的取組 (「相手意識をもった学習活動の実践で学力向上」)

学力向上に関わる本校の状況

1 令和4年度 学力・学習状況調査の結果より
(1)学力に関わる児童の実態
学力の面では、市の平均を下回る。各学年、学力D層の割合が市の平均に比べて大きい。
生活意識や学習意識も低く、学力と比例関係にある。
(2)経年変化の状況と要因の分析
学校全体として、学力は例年、市の平均を下回り、特に3、5年は低く、学習の積み重ねていき、学力を重点的に育成していくが大事であることが見て取れる。



今年度の目標

自分の考えをもち、それを伝え深めることができる子の育成
～お互いに考えを伝え聴き深め合う人間関係づくり～

目標を実現するための具体的行動プラン

1 重点研による国語科「思考力」「判断力」「表現力」の向上
個に応じた見取り、学級・学年集団での傾向を生かした授業の推進
(1)重点研で成長させる資質・能力
①豊かな言語の語彙を増やす
ア 語彙の量を増やす イ 語句のまとまりや関係、構成や変化について理解する
②聞く力を伸ばす
ア 構成の内容の把握、精査、解釈、考えの形成、共有(聞くこと)
③子どもたちが振り返り、変容する力
ア 自分の目標に対して振り返りを行う(自己評価) イ 単元計画を子どもと作る。振り返りカードの活用
(2)研究会への参加
①校内・校外職員研修の充実。②校内授業研究会の実施と校外授業研への積極的な参加
2 メンター研・初任者・実習生への師範授業
(1)各教科等の主任による授業を通して、授業力の育成を図る

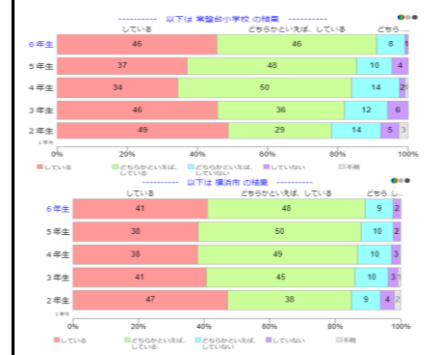
1 重点研による国語科「思考力」「判断力」「表現力」の向上 (上半期引き続き)
(3)結果の振り返りと次年度の育てたい資質・能力の確認(追加分)
2 メンター研・初任者・実習生への師範授業(上半期引き続き)
3 個別最適な学びと協働的な学び
(1)夏の教育課程についての学習会を行う。
(2)外部講師の講演を基に学習する。
(3)公開授業を行い、学習する。40分授業の試行

豊かな心の育成推進プラン

Table with 2 columns: 重点取組分野 (豊かな心), 具体的取組 (「相手意識の活動による豊かな心の育成」)

豊かな心に関わる本校の状況

1 豊かな心に関わる児童の実態
(1)学力・学習状況調査より
①「自分のことが好きですか」の設問では、市の平均より2ポイント高い結果。令和元年度と比べて9ポイントアップ。
②「相手の立場になってその人の気持ち考えるようにしていますか」の設問では、市の平均より2.5ポイント低かったが、異学年交流を充実させていた6年生は、2ポイント高い結果であった。(資料1)
(2)学校アンケートより
①「学校行事を楽しみにしていますか」という設問では、ほぼ100%の児童・保護者が肯定的であった。
②「先生たちは、あなたの話を聞いたり分かろうとしたりしてくれていますか。」の設問では、81%の児童は肯定的な回答
(3)これまでの学校の取組状況
①宿泊体験学習・遠足校外学習の実施
②異学年交流の充実 ③道徳科授業の推進
④人権教育の充実



今年度の目標

○道徳の時間や様々な教育活動のなかで、よいことや悪いことを判断し、行動できる子を育てる。
○自分や友達を大切に思う心情や態度を育てる。
○遠足・集団宿泊体験学習の充実及びR6年度に向けての行事改革を推進する。

目標を実現するための具体的行動プラン

1 「道徳科」の充実
(1)研修会やメンターでの授業研究会を実施し、道徳の指導力向上を図る。
(2)全教育活動を通して、子どもが身に付ける道徳の内容を分かりやすく表し、道徳的価値について自ら考えるきっかけとなるような指導で実践する。
(3)授業参観に年1回道徳の授業を行い、保護者・地域のご意見を伺い、取組の評価をいただく。
2 人権教育の充実
(1)全学級の人権キャラバン参加、人権関連の講演会等で、子ども、教職員への人権感覚を豊かにする。
3 体験活動の充実
(1)縦割り活動など異学年活動の充実
ア 児童会活動、クラブ活動、縦割り活動を年間通して行い、一人一人が参画することやリーダーを育成することを通し、役割に責任をもち、自分のがんばりを自分のよさとして捉える。6年間の学びを意識しての指導

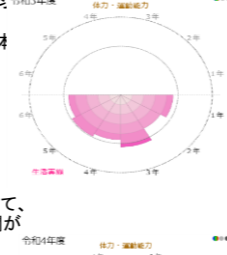
1 「道徳科」の充実 (上半期に引き続き)
2 人権教育の充実(上半期に引き続き)
(2)区人権推進校として、区の人権教育についての講演会を行う。(追加分)
3 体験活動の充実(上半期に引き続き)
(2)体験学習 (追加分)
ア 宿泊体験学習の充実 イ体験的な活動を充実した授業実践
4 R6年度に向けての行事改革
(1)常小オリンピックと宿泊体験学習の内容・時期について決定する。
(2)全校遠足をR5年度秋に試行し、R6年度の内容・時期について決定する。
5 安全教育の改革
(1)R5年度までの安全教育を振り返る。
(2)安全教育について、外部講師を呼び、研修会を行う。
(3)R6年度の安全教育の内容・時期を決定する。

健やかな体の育成プラン

Table with 2 columns: 重点取組分野 (健やかな体), 具体的取組 (「共に活動し、つくる健康」)

健やかな体に関わる本校の状況

1 健やかな体に関わる児童の実態
(1)市学力学習状況調査・体力テストの結果より
①令和4年度の体力テストの結果と比較すると、現4年6年は、市の平均を上回っている。特に、A層児童、B層児童の割合が大きい。現3年5年は、市の平均を下回ってはいるが、令和3年度と比べて、差は変わっていない。
②体力・運動能力では、反復横跳びがやや低く、立ち幅跳び・50M走(5年除く)が高い結果。
③跳び箱、鉄棒、水泳等では、逆上がり(5年)25M泳ぐ(5年)が低く、開脚とびは全体的に高かった。
④「体育科や保健体育科の学習では、課題解決のために考えたことを、友達と伝え合っていますか」の設問では、「伝え合っている」が、市の平均を下回っている。特に、5年、6年ではそれぞれ体を動かすことが好きな児童が多いが、さらに自分であてを立てそれに向かって練習しようとする意識はやや低い。
⑤テレビゲーム、携帯電話・パソコン等について、現3年、5年に使用時間が長い子が多い。



今年度の目標

基礎的な体力や技能を身に付け、進んで運動に親しもうとする資質・能力を育てる。養護教諭や栄養士との連携を図り、心身の健康の保持増進を目指す。

目標を実現するための具体的行動プラン

1 各教科等の学習
(1)体育科学習の充実
①指導内容や運動の特性を明確にし、児童が楽しみながら運動に取り組めるような授業づくり
②運動の特性に触れながら、基本的な動きや技を身に付ける
③学び合いを大切にし、お互いのよさに気づき、共に高め合っていくとする態度の育成
④保健学習での実践的な指導
(2)生活科・理科・家庭科・道徳の充実
(3)特別活動
①体育的な学級集会、安全、保健、給食指導
②体育的行事：新体力テスト、縄跳び、常小オリンピック(運動会)など
③体力の向上や健康の保持増進の基礎を養う など
2 児童指導
①安全を守る態度と行動力を身につける訓練と指導
②学年に応じた遊び、用具・固定施設の安全な利用

1 各教科等の学習 (上半期に引き続き)
(1)体育科学習の充実 (2)生活科・理科・家庭科・道徳の充実
(3)特別活動
④学校保健委員会の取組を通し、健康の大切さを再認識するとともに、継続して取り組めるよう意識できるようにする。
⑤栄養士との連携を図り、食に対する意識と意欲を高める。
2 児童指導 (上半期引き続き)
③ロング昼休みの活用
3 家庭・地域との協力・連携・保護者、地域と連携して児童の生命の安全と健康を守る
①学校保健委員会(年2回)の効果的な運営
②地域、スポーツ団体との協力
③校庭、体育館の開放
④学校便り、保健便り、給食便り、HP等の充実